

「地域から変える 地域からつくる 共生経済」

2014年7月11日

HP・メールニュース <No.3>

第11回夏期研「分科会」 魅力あふれる充実の企画

第11回夏期研究集会の分科会は二日目の8月24日、兵庫県立大学を会場に開かれます。5つの分科会と1つの移動分科会では、いま最も注目される実践レポートが予定されています。今回は、第5分科会の概要についてお知らせします。

兵庫県連で宿舎確保をお願いしていますが、**サンサイドホテルは定数オーバーで締切ました。お申込みは早めをお願いします。**

*分科会 (8月24日 9時~11時55分)

第5分科会 「自然エネルギーで地域を変える」

再生可能エネルギーの取組みが地域を変えています。自然エネルギーの利活用、省エネが中小業者の仕事をつくり、循環型の経済の流れをつくり地域が豊かにします。自然エネルギーによるエネ自給をめざす自治体の取組みもすすんでいます。先進の取組みから脱原発の道を考えます。

助言者：井内尚樹さん・名城大：三井逸友さん・嘉悦大

【報告予定】

「問題提起」 井内尚樹さん「自然エネルギー生産と循環型経済再論」

太陽、風、水など「自然の恵み」はどここの地域でも存在する「地域資源」です。中小企業のものづくり振興による地域経済の再生とどここの地域でもある「自然の恵み」を地域経済の基盤に活用していく循環型地域経済を考えます。



報告 「自然エネルギーを生かした地域づくり」 種山博茂さん

北アルプス民商の会長の種山さんは「NPO地域づくり工房」の理事として、長野県大町市を拠点に自然エネルギーを生かした地域づくりを進めています。「地域工房」の2002年10月「市民からの仕事おこし」を基本理念に発足させ、「くるくるエコプロジェクト（ミニ水力発電の普及活動=写真）と菜の花エコプロジェクト（下写真）を車の両輪に活動をすすめています。そして、いまFITをきっかけに太陽光にも着手しています…。この間の取組みを映像も使いなが

らビジュアルに報告します。

報告 「住宅の省エネをどうすすめるか」 成田完二さん

欧米では当たり前の住宅の省エネですが、日本では普及していません。脱原発をすすめる上で、自然エネルギーの開発とともに省エネは欠かせません。各地で住宅リフォーム助成制度ができ、建築業界は仕事受注のチャンスが広がっているだけに、その際に広げていきたいものです。成田さんは「エコリフォームのすすめ」を商工新聞紙上で連載した建築士・住宅作家です。そして自らも率先して自宅の「リゾート計画」に着手してさまざまなデータも集めてきました。それらの体験も交えて、省エネ住宅づくりの取組みを報告します。



報告 「市民の、市民のための、市民によるエネルギーづくり」(未定)

全国各地でファンドを設立したり、市民からの出資を募ったりして市民によるエネルギーづくりの取組みがすすめられています。また、風車は小水力の発電の開発に挑戦するモノづくりグループの活動も活発です。

各地の最新の取組みをレポートします。

持ち込みレポート大歓迎です。A4横書きでメールにてお寄せください。予稿集に掲載します。締切8月5日。

***** 《参加申し込みについて》 *****

「第11回夏期研究集会・参加申込書」に記載の上、県連を通じてFAXまたは郵送で全商連宛お送りください。〆切は8月5日(火)です。

※宿泊は「宿泊のご案内と宿泊申込書」で、兵庫県連のFAXにお申し込みください。サンサイドホテルは締切ました。

◇お問い合わせ、申込み先

全商連附属 中小商工業研究所

〒171-8575 東京都豊島区目白2-36-13 全商連気付

電話 03-3987-4391 FAX 03-3988-0820

◇参加費・資料代 5千円、学生は2千円

振込口座 りそな銀行 目白出張所 普通口座 1016822 中小商工業研究所 代表 太田義郎(オオタヨシロウ)

参加費 1人5,000円、学生2,000円